

福岡県飯塚市幸袋 築120年古民家『聴福庵』 2017年のあゆみ⑧

第36号 2017年11月6日発行

ミマモルジュ挨拶

ホテルに宿泊客の様々な相談や
ご要望に応えるコンシェルジュがいる
ように、保育においても様々な
ご要望や悩みがあると思います。

「見守る」+「コンシェルジュ」=
ミマモルジュとして、保育に関する
ご要望にお応えしていけるよう
活動していきます。

株式会社カグヤ 奥山卓矢

今回の聴福庵

10月19日～27日まで、聴福庵に滞在していました。
今回はその前半戦となる22日までの活動を報告します。

2017年10月19日(木)

移動日、掃除

夕方、羽田空港から福岡空港へ。

2017年10月20日(金)

風呂小屋床下発酵土作り、縁日準備

おがくず、呼吸する土、木酢、炭、水晶→呼吸する発酵床
縁日開催に向けて近隣の神社掃除

2017年10月21日(土)

縁日、煤竹天井張りつけ作業

まちづくり座談会、聴福庵初となる縁日の開催。
近隣の子どもたちが来庵し、スーパーボールやヨーヨー、
貝磨きを楽しんでいました。

2017年10月22日(日)

縁日、吉住さん来庵

縁日2日目。伊藤伝右衛門さんの従兄弟にあたる吉住さん来庵。
伊藤伝右衛門さんの人柄などをお話しくださいました。

まちづくり×古民家塾生=観光創生化
～なつかしい未来が、まちの魅力を創造します～

10:00～11:30

まちづくり座談会
～暮らしや高品質なまち～

20年塾生が実践してきたまちづくりの経験、人脈、知見、人材、技術、
実際に「まちづくり」経験、実践、知見、活用し、近未来のまちづくりの
課題を話し合う。ご参加ください。

＜講師＞
まちづくり塾生、講師、自治体、民間企業等から選抜した塾生による
まちづくり実践者。

森まなぶ

14:00～17:00

こども縁日

- 福田康孝先生による貝磨きを使ったワークショップ
～貝磨きで世界に1つのお守り作り～ **参加費無料**
- 「スーパーボール」
「ヨーヨー風船」
を無料で配布
致します。

10月
21・22日 場所：聴福庵
[土・日]

福岡県飯塚市幸袋3401-1 (伊藤伝右衛門邸)
〒820-0068 電話：090-5749-3545

＜お問い合わせ先＞
近畿大学九州短期大学(近大) 電話：090-5749-3545
平成29年度飯塚市大学支援補助金事業



床下 before

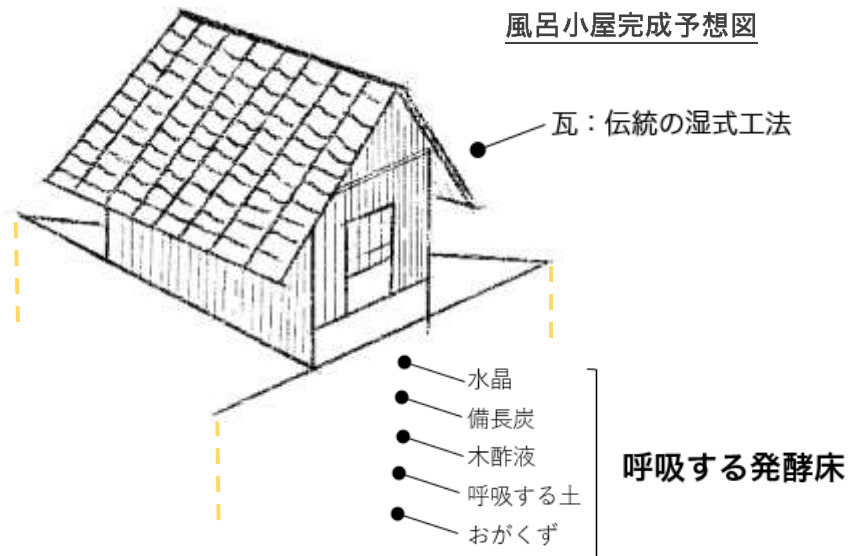


おがくず、呼吸する土を敷き詰めます



備長炭、水晶の順で敷き詰めます

床下「呼吸する発酵床づくり」



『聴福庵』の離れに風呂小屋を建てる準備が着々と進んでいます。

床下には、これまで自然農や自然養鶏、妙見高菜や埋炭技術で培ってきた発酵場を今回つくっていきましました。

伊勢神宮や法隆寺、京都にある神社仏閣にも地下に大量の炭が使われ、炭には場を清める作用があるといわれています。建築工法も古来から伝わる伝統技術を用いて、今後もプロジェクトが進んでいきます。

まちづくり座談会

10月21日、22日にメンタルサポート研究所マーケティングマネージャー兼務オフィス学人代表 森まなぶ氏をお招きし、まちづくり座談会を行いました。

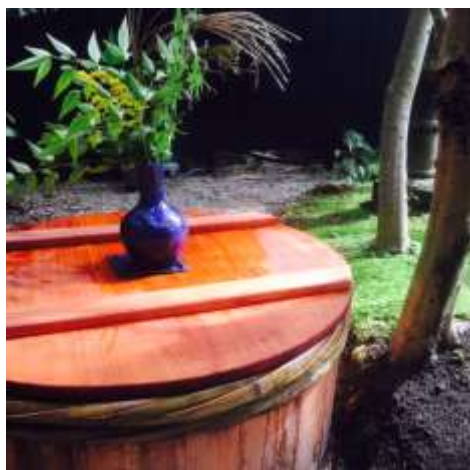
座談会では、グループに分かれブレインストーミングを行いました。

- 1) 旧伊藤伝右衛門邸が与える価値は？
- 2) 旧伊藤伝右衛門邸のあるエリアの与える価値は？

ブレインストーミングでは、質より量を大切に企画案を考えていきました。



座談会でのワークショップ





発酵する土 呼吸大学



炭の効果で空気がきれいに！

聴福庵を通して感じること

今回、縁日を行うに当たり多くの方のご協力により開催することができました。

当初、縁日の2日間、同時並行的に離れの瓦葺きを行う予定でいました。しかし、役所の建築申請の関係で延期となってしまいました。そして更に、日本列島を襲った大型の台風の影響もあり、もし、瓦葺きを行っていたとしても、少なからず被害が遭ったかも知れません。

そう思うと、縁日に集中して全員が関わったことで、何かの巡り合わせだったのかもしれない。

縁日には、近所の子どもたちや通りすがりの方、保育園から机をお借りした園の園長先生にも来庵頂きました。数の上では決して、大盛況というわけではありませんでしたが、でも本当に縁あって来られた方とは早速つながりはじめました。

『聴福庵』のすぐ近くでギャラリーを営む吉住さん夫妻、イタリアンsalteを営むご夫婦のお店には、早速ランチへ行ったり、縁を大切にしていく積み重ねが縁日になるということも教えて頂きました。

赤い提灯が軒下に掛ると、ひと際『聴福庵』の存在が際立ちます。

子どもたちの笑う声に誘われ、一人、また一人と中を覗き見に来る、こんな場になることをずっと、この家は望んでいたのかもしれない。

『聴福庵』はもう自分たちだけのものではなく、地域に開かれた場になっていくべきなのだと、改めて感じるのです。

(報告者：株式会社カグヤ 奥山卓矢)

●過去のバックナンバー

第33号

臥竜塾年間講座④

第34号

第46回保育環境セミナー前編

第35号

第46回保育環境セミナー後編

<http://www.caguya.co.jp/topics/news/p9889/>



〒161-0023

東京都新宿区西新宿 3-2-11 新宿三井ビルディング 2号館 10階

Tel:03-5909-7155

毎週月曜日に配信しています。

ミマモルジュメールマガジン発行：株式会社カグヤ 奥山卓矢



メールマガジンのご登録は、QRコードからお願いします。